

2月3日に、北海道の旭山動物園から羽村市動物公園にやってきました。レッサーパンダの梨梨（リーリー）です！  
よろしくね♪

広報はむら

令和4年3月15日号

令和4(2022)年3月15日発行 第1065号  
【発行】羽村市 【編集】羽村市広報広聴課

URL = <https://www.city.hamura.tokyo.jp/> / [102000@city.hamura.tokyo.jp](mailto:102000@city.hamura.tokyo.jp)  
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 ☎042-555-1111 ⑨337 FAX 042-554-2921



広報  
はむら  
3月15日号  
令和4(2022)年

愛情ギュッとす〜っとはむら

### 粗大ごみを修理・再生して販売しています

問合せ リサイクルショップ ☎555-3534



排出される粗大ごみの中には、椅子やテーブル、収納家具など、まだまだ使える品物がたくさんあります。

羽村市リサイクルセンター内にある「リサイクルショップ」では、シルバー人材センターの方々がそれらの粗大ごみを修理・再生し、安価で販売しています。写真の展示品のほかにも多くの再生品を販売していますので、ぜひ一度リサイクルショップへお越しください。

修理して大切に使って、ごみの減量につなげましょう。

販売日時 月～金曜日の午前10時～午後4時（祝日および年末年始を除く）、毎月第1日曜日（1月の第1日曜日が元日～3日の場合は第2日曜日）の午前10時～11時45分、午後1時～4時

所在地 羽村市羽 4221-1（リサイクルセンター内）



### ◆◆◆ 収蔵品ファイル ◆◆◆

その95

シリーズ 博物館とどうぶつ⑫ 「豚共進会」

右の写真は、昭和43年頃に川崎の宗禅寺前広場で行われた豚共進会（コンテスト）の様子です。豚には番号札が付けられ、審査員たちが「血統」「能力」「体型」といった要素を審査し、豚の優劣が競われました。

昭和30年代から40年代の羽村町（当時）では養豚が盛んで、最も多い時には6,050頭も飼育されていました。「羽村豚」は西多摩郡共進会では常に好成績を収めたり、東京都代表として全日本豚共進会に出品されたりと、高く評価されていました。

問合せ 郷土博物館 ☎558-2561



▲豚は、昭和中期の羽村の産業を支えた動物といえます。

郷土博物館公式 Twitter ▶



市公式サイト



市公式PRサイト



Twitter



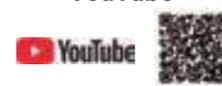
Facebook



Instagram



YouTube



広報はむらは再生紙を使用しています